

人との関わり長寿の秘訣 船越の山崎さん100歳迎える

船越の山崎タツさん（大正5年生まれ）が、5月26日に満100歳の誕生日を迎えました。同日、山崎さんの自宅を佐藤町長が訪れ「大変元気そうでなによりです。これからも長生きしてください」と言葉を掛け、長寿祝い金を手渡しました。好き嫌いをせず何でも食べる山崎さん。好物は長男がとるウニだそうです。デイサービスに出かけることを楽しみにしていて、「人と関わるのが長寿の秘訣。大勢の家族に囲まれて、今日を迎えることができうれしいです」と元気に話してくれました。



スポーツ少年団結団式 それぞれの目標を胸に誓う

5月28日、町中央公民館では「平成28年度山田町スポーツ少年団結団式」が行われました。午後6時から行われた同式には、町内から16の少年団、184人の団員が参加。それぞれ少年団ごとに登壇し、所属する団の紹介とパフォーマンスを披露しました。また、優良指導者として山田野球スポーツ少年団の中村真一さんと荒川守さんが表彰されました。ことしの団員代表宣誓を務めたのは、山田レスリングスポーツ少年団の川村翔英君。堂々とした宣誓をしました。皆さんの今後の活躍が期待されます。

山田斉心館が優秀な成績残す

平成28年度第31回岩手県道場少年剣道大会

6月12日、奥州市総合体育館で開催された平成28年度第31回岩手県道場少年剣道大会で、山田斉心館が団体戦と個人戦で優秀な成績を残しました。なお、団体（A・Bチーム）は7月に日本武道館（東京都）で行われる全国大会に、個人は10月に広島サンプラザ（広島県）で行われる全国大会に出場します。

◎団体戦で2位に入賞

50チームの中から勝ち上がり、見事2位入賞を果たした山田斉心館Aチーム。大将を務めた五十嵐颯君は「当日のチームの雰囲気良かったので勝てたと思います。2位はうれしいけど、優勝したかったです」と大会を振り返ります。全国大会については「とにかく良い結果を残したいです」と意気込みを話してくれました。

◎個人戦では2人が準優勝

男子個人戦では田畑真君、女子個人戦では佐々木結愛さんがそれぞれ準優勝を果たしました。入賞が初めてでうれしいという田畑君。「全国の舞台ではより多く勝ちたい」と闘志を燃やします。佐々木さんは「今回の大会で負けた相手と全国大会で試合することになったら負けません」とリベンジを誓っていました。



山田斉心館（前列がAチーム、後列がBチーム）

個人戦で準優勝した2人。写真左から佐々木結愛さん、田畑真君。





町のわだこ

今月の題字 佐々木 裕翔君 (荒川小2年)



豊間根地区が活気に溢れた2日間 白山神社例大祭行われる

6月4日から5日にかけて、白山神社（佐藤明徳宮司）の例大祭が豊間根地区において執り行われました。これは五穀豊穡、家内安全、商売繁盛を祈願するお祭りです。毎年この時期になると、豊間根地区は祭りののほり一色に。神社は活気に包まれます。ことしは町内外から8団体が参加。迫力ある演舞を披露し、大いに祭りを盛り上げました。特に、地元豊間根地区の大川さん、荒川念仏剣舞が、胸に響く掛け声と心地よいおはやしのリズムで演舞を披露すると、詰めかけた観覧者からは大きな拍手が沸き起こりました。

大沢地区で慰霊碑除幕式 震災の記録後世に伝える

6月11日、大沢地区の南陽寺で東日本大震災慰霊碑除幕式が行われました。式には遺族や関係者約200人が出席。慰霊碑には、同地区で震災により犠牲となった119人の名前と、元大沢小学校長の箱石敏己さんが考えた「命を守る5つの誓い」が記され、大沢小児童7人が朗読しました。大沢地区コミュニティ推進協議会の昆暉雄会長は「何よりも大事なものは自分の命。犠牲者を二度と出さないため、震災の記録を後世に伝えていきたい」とあいさつし、同地区遺族会会長の福土勝久さんは「慰霊碑の前を通る時には手を合わせてほしい」と語りました。



町をヒマワリでいっぱい 種まきイベント開催される

6月19日、山田中学校の敷地内で「希望の花を咲かせよう」プロジェクトが行われました。グレート小鹿さん（大日本プロレス所属）が、町内を希望の花でいっぱいにしようと主催した。このイベントはことしで3回目の開催となることから、町から感謝状が贈呈されました。その後、(株)サカタのタネから園芸指導を受け種まきを実施。参加者は土と肥料をかき混ぜ、種を一つ一つ丁寧に植えていきました。参加した山根そらさん（9歳）は「毎年参加しています。ヒマワリの成長が楽しみです」と笑顔を見せました。